

2019年度のANBD制作テーマは「融」。東アジアの332のメッセージが作品になりました。

ASIA NETWORK BEYOND DESIGN 2019 KYOTO

2019年9月28日(土)～10月4日(金) 10:00～17:00 入場無料
 京都造形芸術大学 京都・瓜生山キャンパス Galerie Aube (人間館 1F)

9月28日(土)

ANBD2019 京都 国際シンポジウム

ANBD2019 Kyoto Lightning Talks Symposium

13:00～ 望天館会議室 (望天館 2F) 要事前申込

基調講演会「幾何学と芸術」

シュワーベ カスパー

15:30～ Galerie Aube 申込不要・参加無料

ワークショップ「終わらない模様 - 麻の葉」

ツツミエミコ 午後(適宜開催) Galerie Aube (人間館 1F)

※会場の進行に応じ適宜開催 参加無料

三角形の中にひとつ点を打つとみるみる広がる「麻の葉」模様。子供の産着にも使われやすく成長し魔除けにもなった日本の吉祥文様。規則正しくみえる模様をフリーハンドで展開させながら模様から生まれるハーモニーを味わうワークショップです。とても簡単なのにいつまでも描いていなくなる模様の力を味わってみてください。

オープニング 16:30～ Galerie Aube (人間館 1F)

共催：アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン協会
 アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン日本協会
 京都造形芸術大学

後援：玉川大学

協力：日産グローバル株式会社

助成：本事業は、京都府及び公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。

展覧会に関するお問い合わせ：

ANBD 日本協会事務局

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学芸術学部デザイン研究室 担当/中島 tokyo@anbd.info



KYOTO UNIVERSITY OF ART & DESIGN
 学校法人 瓜生山学園
 京都造形芸術大学



NISSAN



KYOTO
 TRADITION MEETS INNOVATION

講演会講師



シュワーベ カスパー
 (アーティスト、神戸芸術工科大学大学院 教授)

1953年、スイスのチューリッヒ生まれ。父はグラフィック・デザイナー、画家である母のもとで育つ。シュタイナー学校を経て、独学で科学、芸術、デザインを学ぶ。幾何学アートアーティストとして展覧会やワークショップを国際的に展開すると同時に、科学博覧会のアートディレクターとして活躍。フェノメナ展(1984年)、オイルカ展(1991年)、バックミンスター・フラー展(2002年)、ポルトガル万博スイス館、科学館テクノラマなど。1988年にチューリッヒに幾何学アートのフォーラム「AHAギャラリー」を設立。2006年に「ジオメトリック・アート」(工作舎)を出版。2002年から2003年まで神戸芸術工科大学特任教授。2004年から2015年まで倉敷芸術科学大学教授。2015年より現職。

ワークショップ講師

ツツミエミコ
 版画家、オトエガク(音絵案)、アートディレクター

音符や音楽記号を版画の要素とする版画家。「音絵案-otoegaku」のアートディレクター。音楽のセッションのように参加する事で響きあうワークショップのチカラに注目し、和紙・漆・版画・伝統文様等の素材や手法をワークショップに取り入れている。今回は、日本の伝統模様「麻の葉」をフリーハンドで描き続けることで生まれる模様のハーモニーを体験するワークショップを行います。



東アジアの新たな文化交流ステージを創出する ANBD

「ANBD(アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン)」は、東アジアの4都市で毎年アンデパンダンな国際デザイン展活動を運営しています。12年目を迎える2019年は、京都、ソウル、台北、天津の4都市で開催されます。グラフィックデザイン・写真・イラストレーション・空間デザイン・工芸などの様々なジャンルのデジタル出力作品群からは、今日の東アジアの感性とエネルギー、そしてそれぞれのアイデンティティを感じていただけるのではないかと思います。ANBDは、地域・世代・ジャンル・産学などの枠組みを超え、東アジアにおける独自のステージの創出を目指しています。

“融”をテーマとする332点の作品

ANBD2019 京都展は、9月28日[土]から10月4日[金]まで、京都左京区の京都造形芸術大学キャンパスにて、“融”を共通テーマとする作品を展示いたします。今年は、日本、韓国、中国、台湾、マレーシア、スリランカ、バンコクから、合計332人の作家が参加しています。東アジアのアーティストたちが、このテーマをどのように捉え、ビジュアライズするのか、ご覧頂ければ幸いです。会場では、国内外の作家による個展も合わせて開催いたします。

ANBD2019(第12回)の日程と開催地

9月28日—10月4日 京都展：京都造形芸術大学
 10月15日—21日 ソウル展（韓国）：Dream Forest Art Center
 11月3日—10日 天津展（中国/メイン会場）：天津美術学院
 11月23日—28日 台北展（中国）：NTNU Teh-Chun Gallery

ANBDのあゆみ

*=メイン会場

第1回 共通テーマ：アジア 2008年8月—10月

会場：ソウル（韓国）、札幌〔札幌市立大学〕、台南（台湾）、天津（中国）
 展覧会以外の活動（札幌）：記念講演、作家アトリエ訪問ほか

第2回 共通テーマ：ネットワーク 2009年8月—11月

会場：天安（韓国）、台南*（台湾）、天津（中国）、奈良〔奈良文化会館〕
 展覧会以外の活動（奈良）：学生ワークショップほか

第3回 共通テーマ：ビヨンド 2010年9月—11月

会場：清州（韓国）、台北（台湾）、横浜*〔赤レンガ倉庫〕、天津（中国）
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 展覧会以外の活動（横浜）：記念講演、ライブペインティング、ワークショップほか

第4回 共通テーマ：生命のためのシステム 2011年8月—12月

会場：ソウル（韓国）、天津*（中国）、台北（台湾）、横浜〔赤レンガ倉庫〕
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 協力：東京学芸大学石井研究室 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
 展覧会以外の活動（横浜）：基調講演、震災地支援プロジェクト、
 ワークショップ、ミニコンサートほか

第5回 共通テーマ：地域文化 2012年9月—12月

会場：ソウル（韓国）、桃園*（台湾）、蘇州（中国）、横浜〔赤レンガ倉庫〕
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 協力：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
 展覧会以外の活動（横浜）：ミニコンサート、デジタルステーションほか

第6回 共通テーマ：未来へ向けたアジア文化遺産 2013年8月—12月

会場：相模原〔女子美術ミュージアム〕、雲林（台湾）、天津（中国）、ソウル*（韓国）
 共催：女子美術大学美術館 後援：玉川大学 相模原市 協力：株式会社モリサワ
 展覧会以外の活動（相模原）：シンポジウム、ワークショップ

第7回 共通テーマ：カタチの中のアジアの心 2014年8月—12月

会場：ソウル（韓国）、台北（台湾）、天津（中国）、東京*〔東京工芸大学〕
 共催：東京工芸大学 後援：玉川大学 協力：株式会社ワコム
 展覧会以外の活動（東京）：記念講演、ワークショップ

第8回 共通テーマ：天地風物 2015年9月—11月

会場：東京〔東京工芸大学〕、ソウル（韓国）、高雄（台湾）、成都*（中国）
 共催：東京工芸大学 後援：玉川大学 協力：小林静山堂
 展覧会以外の活動（東京）：講演会、ワークショップ

第9回 共通テーマ：間 2016年8月—11月

会場：ソウル（韓国）、長春（台湾）、雲林*（中国）、東京〔東京工芸大学〕
 特別展（冬季アジア札幌大会支援企画 ANBD 特別コラボポスター展）
 共催：東京工芸大学 後援：玉川大学 協力：銚子はね太鼓保存会 FUTASARA
 展覧会以外の活動（東京）：講演会、ワークショップ

第10回 共通テーマ：共鳴 2017年9月—12月

会場：東京〔東京工芸大学〕、温州（中国）、雲林（台湾）、ソウル（韓国）
 特別展（ミュンヘン・2018年2月）
 共催：東京工芸大学 後援：玉川大学 協力：ZI-PANG
 展覧会以外の活動（東京）：佐藤卓講演会、ワークショップ

第11回 共通テーマ：創生 2018年9月—12月

会場：クアラルンプール（マレーシア）、台南（台湾）、ソウル（韓国）、山西（中国）
 特別展（コロンボ・2019年2月）

ANBD

（アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン）

Asia = ASIA = 東京、ソウル、天津、台北の4都市を拠点にスタートし、現在では台南、山西、バンコク、コロンボ、クアラルンプールなどに拠点が広がっている。

Network = 出品者からの紹介などによって人的ネットワークを拡張する。

Beyond = 地域・世代・ジャンル・組織・産学・プロアマ・スタイルなど、様々な枠を超えた交流のステージを創造する。

Design = 狭義でのデザインだけでなく、有形無形のシステムやアート活動など、広範なクリエイティブ活動全般を対象とする。

ANBD協会

デジタル通信を活かした運営を行い、2008年度の設立以降、東アジアの各地で47回の国際デザイン展覧会を開催し、2019 京都展は48回目の展覧会となる。独自のネットワークの構築により、展覧会の運営をベースに、作品集の刊行、講演会やシンポジウムの開催、ANBDアワードの授与、会員間の交流の促進などを行っている。

ANBDエクセレントアワード

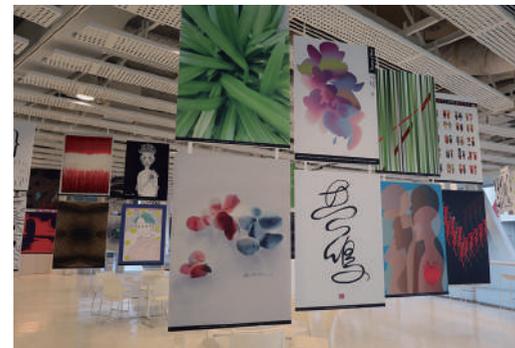
地域の審査員（今年度は20名）によって選ばれた作品にANBDエクセレントアワードが授与される。2019年度の東京地域の審査員は、小川直茂（岐阜市立女子短期大学）、岩藤百香（川崎医療福祉大学）、石松文佳（名古屋工業大学）、久保村里正（文教大学）の4名。（敬称略順不同）

※ANBDの出品者は4つの展覧会に向けてそれぞれ異なる作品を出展しています。

会場案内

京都造形芸術大学 京都・瓜生山キャンパス 人間館 1F/ 望天館 2F
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

※駐車場がございません。公共の交通機関でご来場下さい。



ANBD 2017 東京展



ANBD2019 コロンボ特別展



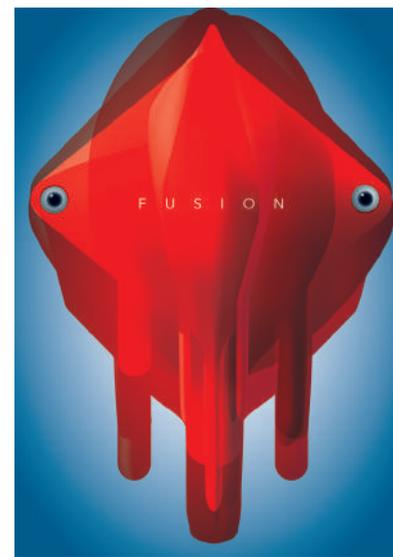
Huang Shuya (台北)



Xu Xinyu (天津)



高橋美花



笠井則幸



Rajapakse Janaka (コロンボ)



南川茂樹



Lee Youngsook (ソウル)